

# 自宅礼拝のお願い

2021年8月12日

静岡草深教会長老会

主任担任教師代務 高橋 爾

主の御名を賛美いたします。

既にご承知の通り、現在、本県を含め全国的に新型コロナウイルスデルタ株の感染が急激に拡大しています。このデルタ株は以前のウイルスより数倍の感染力があり、ワクチン接種後の方も感染媒介者となってしまう危険性のあることが専門機関等によって指摘されています。8日（日）からは感染者数の増加を受けて静岡県の警戒レベルも「6（嚴重警戒）」となりました。また政府は静岡県を「まん延防止等重点措置」の適用対象と決めました。それを受け静岡県は静岡市、浜松市及び東部地区の全市町村を重点措置適用地域と定めています。

静岡草深教会は昨年独自の判断基準を定めましたが、既に主日礼拝も教会員の皆様に自宅での礼拝をお願いしなければならない深刻な状態になっているものと考えます。

8日の長老会はこの状況を重く受け止め、当面の礼拝の捧げ方について協議し、感染防止策を尽くしても感染者を出してしまう危険性は拭えない状況になっていると判断しました。従いまして、まん延防止等重点措置の対象となる期間（8月31日まで）は、主日礼拝をご自宅で捧げて頂くことも止む無きものとの結論に達しました。8月末まで、教会員の皆様には、できる限り自宅礼拝のご検討をお願い致します。今もご自身や周囲の方々への感染の危険性が高い状況にあることを踏まえ、長老会の判断をご理解いただき、お一人お一人がそれぞれに適切にご判断をしてくださいますようお願い致します。

礼拝は、主イエスがよみがえられた日曜日の朝に「キリストの体である教会」へ神に招かれて共に集い、神を仰ぎ、賛美と祈りを皆でささげ、御言葉と聖餐によって神に養われる出来事であり、主日礼拝は、他のいかなる礼拝的営みをもってしても代えることはできません。しかし、様々な不可抗力が要因で出席できない際には、自宅での礼拝を通して主日礼拝に連なることを主はお赦しくくださるものと存じ

ます。具体的な自宅礼拝の持ち方につきましては、昨年度発行されました「自宅礼拝の手引き」を参考にしてください。

会堂での主日礼拝は、救いの鍵を預かる教会が公の礼拝を世に開き続けておく責務において為す事ですから、期間中も主日礼拝、夕礼拝、共に中止することはございません。来会される場合の感染対策につきましては一層のご協力をお願い致します。出席される場合は「密集」回避の手立てとして、夕礼拝への出席もご検討ください。なお礼拝当番・奏楽等の諸奉仕は長老が担いますので他の方々の責務はございません。

また、礼拝以外の諸集会は、教会学校、祈祷会も含め、当面の間休止致します。どうぞ、ご了承ください。

この度のお願いにつきましては長老会でも難しい判断を迫られ、長時間の審議を経ての決断となりました。私たちが教会を名乗り礼拝することが叶うのは、ひとえに主の恩寵によるほかないことをあらためて思わされております。それ故、長老会が出した結論について、他のご意見をお持ちの方もいらっしゃるかと存じますが、どうぞ、今回のことは緊急事態故の臨時措置であることをお汲み取り下さり、事態の明けた後は、また一つの礼拝へ集えることを同じ望みとし、希望・忍耐・ご配慮をもってお過ごし頂けますことをお願いする次第です。

なお、まん延防止等重点措置、危険度警戒レベル等については夫々に延長の場合も在り得ることを予測し、8月29日に確認の長老会を行います。今回のお願いに変更・連絡等がある場合は、その折に組会連絡網でお伝えすることとなります。どうぞ主のお守りが皆様の上に豊かにありますように。

在主。